

『情報系のための離散数学』初版1刷 正誤表

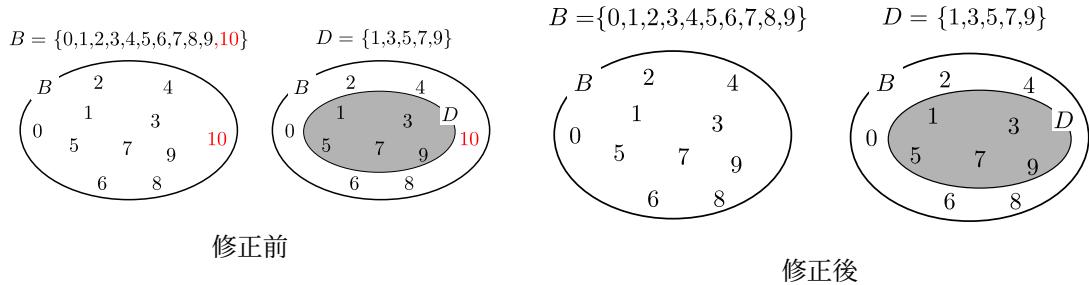
(令和3年10月11日現在)

頁	行	誤	正
4	下から5	$(\neg p)$ を単に $\neg q$	$(\neg p)$ を単に $\neg p$
19	下から3	集合の要素 D が,	集合 D の要素が,
20	例2.3	(ベン図の(b),(c))	※ 欄外(1) 参照
〃	例2.4	(ベン図)	※ 欄外(2) 参照
21	問2.8	次のa)~e)の値を…	次のa)~d)の値を…
29	問2.18	外延式記法で答えよ.	外延的記法で答えよ.
33	8行目	$Q_T = \{x \in U \mid Q(x)\}$	$Q_T = \{x \in U \mid q(x)\}$
34	囲み4行目	…の要素が $P(x)$ を真にする	…の要素が $p(x)$ を真にする
38	6行目	$\neg(\exists x : d(x))$	$\neg \exists x : d(x)$
48	上部の図	(1.(2.().))	(1.(2.().))
53	8行目	$\Leftrightarrow \neg(\neg q \vee r) \Leftrightarrow q \vee \neg r$	$\Leftrightarrow \neg(\neg q \vee r) \Leftrightarrow q \wedge \neg r$
54	下から3	たとえば「たけやぶやけた」のように…になる文字列のことである.	※ 欄外(3) 参照
72	下から11~	集合 A 上の2項関係で, (中略), すなわち, xAx である関係を…	集合 A 上の2項関係 R が, (中略), すなわち, xRx であれば…
〃			
86	下から4	独立変数 (independent ...)	独立変数 (independent ...)
90	下から10	$b \in B$ との組 (a, b) からなる…	$b \in B$ との順序対 (a, b) からなる…
91	下から2	なお, 関数 $X \rightarrow X$ が…	なお, 関数 $f : X \rightarrow X$ が…
92	2行目	2つの整数…全射ではある.	※ 欄外(4) 参照
95	例6.10	次式が成り立つ.	次が成り立つ.
96	問6.9	次式が成り立つことを示せ.	次が成り立つことを示せ.
100	5行目	頂点 (vertix)	頂点 (vertex)
103	問7.4	握手定理が成り立つこと…	握手補題が成り立つこと…
104	11行目	閉じている道 P を閉路…	※ 欄外(5) 参照
105	網掛け部	(中央の表)	※ 欄外(6) 参照
〃	問7.5	「小道, 道」のいずれであるか…	「小道, 道, 小道・道のどちらでもない」のいずれであるか…
106	問7.6(d)	…までの距離が最大の道.	…までの長さが最大の道.
107	2行目	辺 $(u, v) \in E$	辺 $\{u, v\} \in E$
108	例7.7	G_1 は3つの連結成分から…	G_8 は3つの連結成分から…
〃	下から8	2頂点 $u, v \in E$ の間に道が…	2頂点 $u, v \in V$ の間に道が…
〃	下から2	E の任意の2頂点が関係を満たす	V の任意の2頂点が関係 \rightarrow を満たす
109	7.2.3項題	切断点と切断集合	切断点と橋
113	下から8	$(u, v) \in E \iff (\psi(u), \psi(v)) \in E'$	$\{u, v\} \in E \iff \{\psi(u), \psi(v)\} \in E'$
〃	下から6	このときの h を同型写像…	このときの ψ を同型写像…
115	問7.15	グラフ G_{10} 形式的定義と,	グラフ G_{10} の形式的定義と,
138	問8.11	…各全域木のコストをそれぞれ答えよ.	…各全域木のコストを, 例8.9の G_{19} の重みをもとにそれぞれ答えよ.

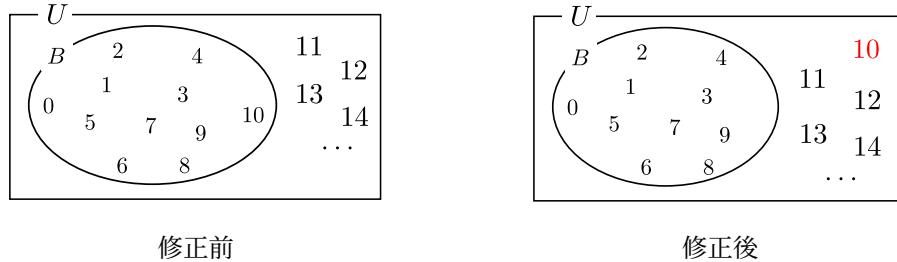
頁	行	誤	正
140	下から 3	幅優先検索 (Breath-dirst ...)	幅優先検索 (Breath-first ...)
157	8 行目	完全 2 部グラフ $K_{3,3}$ が得られる. そのため, G_{12} は $K_{3,3}$ と同相であり,	完全 2 部グラフ $K_{3,3}$ と同相である 部分グラフを含み,
177	問 1.8 答		※ 欄外 (7) 参照
178	問 2.5 答	(下のベン図)	※ 欄外 (8) 参照
183	問 6.8(b) 答		※ 欄外 (9) 参照
〃	問 6.10 答	$sum(n) = n + sum(n + 1), \dots$	$n = 0$ のとき $sum(n) = 0, n > 0$ のとき $sum(n) = n + sum(n - 1), \dots$

..... 欄外項目

(1) p.20 例 2.3 のベン図 (b),(c)



(2) p.20 例 2.4 のベン図



(3) p.54 下から 3 行目

誤: たとえば「たけやぶやけた」のように左右どちらから読んでも同じになる文字列のことである.

正: たとえば「きつつき」のように左右どちらから読んでも同じになる文字列のことである. なお,
ここでは長さ (文字数) が偶数個の文字列 $(0, 2, 4, 6, \dots)$ のみを D の要素とする.

(4) p.92 2 行目

誤: 2 つの整数 x, y の和を対応づける関数 $plus(x, y) = x + y$ は, 任意の整数を 2 つの自然数の和で表せるので全射ではある.

正: 2 つの整数 x, y の和を対応づける関数 $plus : \mathbb{Z} \times \mathbb{Z} \rightarrow \mathbb{Z}$ を, $plus(x, y) = x + y$ とすると, 任意の整数を 2 つの整数の和で表せるので全射ではある.

(5) p.104 11 行目

誤：特に，閉じている道 P を閉路 (cycle) という。

正：特に，回路 P の頂点が相異なる（始点と終点は同じでよい）とき， P を閉路 (cycle) という。

(6) p.105 歩道の分類の表

		辺の重複		辺の重複	
		ある	ない		
頂点の重複	ある	歩道 (walk)	小道 (trail) [回路 (circuit)]	歩道 (walk)	歩道 (walk), 小道 (trail) [回路 (circuit)]
	ない	道 (path) [閉路 (cycle)]			歩道 (walk), 小道 (trail), 道 (path) [回路 (circuit), 閉路 (cycle)]

修正前

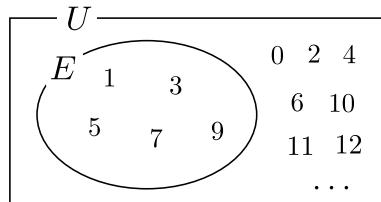
修正後

(7) p.177 問 1.8 解答

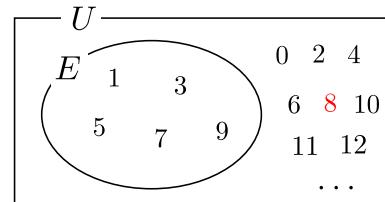
誤：a) 真，b) 真，c) 真，d) 偽，反例 $a = -3, b = 2$ など。

正：a) 偽 反例：4 は 12 の倍数ではない。b) 偽 反例： $a = 1, b = -1$ 。c) 偽 反例： $a = 2, b = -1$ 。
d) 偽 反例： $a = 1, b = -2$ 。

(8) p.178 問 2.5 解答のベン図



修正前



修正後

(9) p.183 問 6.8(b) 解答

誤： $id_{\mathbb{N}}$ の終域と sqr の定義域が一致しない。

正： $id_{\mathbb{N}}$ の終域と sqr の定義域が一致しない。ただし， $id_{\mathbb{N}}$ の値域 $id_{\mathbb{N}}(\mathbb{N}) = \mathbb{N}$ が sqr の定義域 \mathbb{Z} の部分集合 ($\mathbb{N} \subset \mathbb{Z}$) であるため， $(sqr \circ id_{\mathbb{N}})(x) = sqr(id_{\mathbb{N}}(x)) = sqr(x) = x^2$ が定義できるとする場合もある。

以上